

滋賀県レイカディア大学同窓会
日野分会だより

..なないろ..

滋賀県レイカディア大学同窓会
中部支部日野分会だより
発行日：2025年4月1日
発行者：滋賀県レイカディア大学
同窓会中部支部日野分会
分会長：布施 太一郎
TEL：0748-52-4357



我が想い!!
分会長 布施太一郎

レイカディア大学同窓会の中部支部の支部長を拝命して一年が過ぎようとしています。レイカディア同窓会は建学の趣旨に沿った元気活動をする事により、地域社会から期待される存在になる事を目指しております。

中部支部は能登川、八日市、永源寺、竜王町、日野町と五つの分会から構成されており、総勢百四十六人。分会の活動も個々に特色のある活動に取り組みられております。

能登川は、年末のライティングベルの装飾作業参加や、伊庭内湖のヨシ刈り作業、学校の校庭整備などを主に活動。八日市は延命山プロシエクト・桜の木を育てる会の活動にと。それぞれの各分会の活動を交えながら、支部活動としては、びわ湖清掃等の地域貢献活動を行っております。又親睦交流行事としてはグラウンドゴルフ大会、親睦バス旅行などで普段交流の少ない、支部内会員同士の交流の場として活用して戴けるよう計画しております。

我が日野分会では、中学校の五月花壇の整備やレイカディア

で同窓生の交流の機会を持ちながら、自らの健康寿命の延伸に繋げて戴ければと考えています。現在レイカディアで活躍されている現役生の方々が、我々の仲間に加わり、さらに活動に拍車がかかる事を、楽しみにしております。レイカディア大学の原点であります「ともに学ばん」「ともに遊ばん」「ともに生きなん」を目指して共に楽しみましょう。

霧氷の金剛山
近畿で人気ナンバーワンの
大阪の名山・1125m
会員 森島 一雄

私の幾つかある趣味の中から、過日登った金剛山登山を寄稿します。私は京阪神の会員や例会山行を対象とした関西ハイク山友会に所属しています。

大雪直後の二月の日曜日、早め自宅を出発して交通機関を乗り継ぎ、約四時間半で集合場所の金剛山ロープウェイ前バス停に到着。二十一名の参加者が揃ったところでアイゼンを装着し出発。年間百万人が登る人気の名山で日曜日とあって、多くの登山者がおられた。

コースは文殊尾根から入り、転法輪寺、金剛山山頂（風食）へ湧出岳一等三角点、大阪府最高峰、ちはや園地、伏見峠、バス停。

新雪をザクザクと踏みしめ、最初は曇っていた天気も徐々に晴天になり、途中のブナ林などに霧氷（樹氷）が美しく見られカメラが忙しかった。

頂上ではライブカメラが設置されており、多数の人と共に暫し笑顔を向けた。参加者全員で記念撮影

後、風食のおにぎりをほおばる。遠く大阪の街も一望に見渡せた。

帰りは長い下りの念仏坂が続き、膝が笑った。

あちこちの知らない参加者だったが、終わる頃には顔馴染みになって山談義に花が咲いた。今回の思い出を脳裏に焼き付け、又、今後の例会山行に参加しようと思心に決めて帰途に就いた。

「趣味さがし」

第三十八期 吉澤幸治



今は定年六十五歳、あなたの趣味は何ですかとよくきかれます。私は答えられなく困っております。そこで先輩、同年の人に尋ねることにしました。

サークル、クラブに入会させて頂くと皆さん、自分の好きな事、得意な事に生き生きと活動されています。楽しく生き生きとされているのを見ると、自分も出来そうに思えました。会員の中の気になる方に、「趣味はいつから切っ掛けは」と自然と話をよくします。素晴らしいと思える大先輩達には何か共通点がありそうです。

ある先輩から帰ってきた言葉は「やりたい事が沢山あります。死んでいる隙がありませんよ」と満面の笑みで答えてくださいました。

百歳の高齢になっても趣味や興味あることが見つければ、毎日楽しく暮らせ健康寿命が延ばせます。これからも私の趣味探しの旅は続きます。





第46期 園芸学科 井上百合子

新たな出会い・レイカディア大学

私は野菜作りが好きで、園芸学科を選択いたしました。いつも迷いながらの野菜作りが、少しでも上達できればとの思いで、全くレイカディア大学の内容も理解せず、安易な気持ちで申し込みました。

野菜作りだけでなく、社会とのかかわり方や、文化や趣味を深める知識など、シニア世代に必要な教養を総合的に学べる機会を、与えていただいたことを大変喜んでいきます。

また同世代の皆さんと交流することで、新しい発見や人とのつながりが広がることも、今までにない経験です。

びわこ地球市民の森でのシイタケの菌打ちや、野菜の育て方など実践につながる授業が楽しみです。クラス活動では、スポーツ大会や大学祭に向けて、展示・掲示だけでなく体験コーナーを設け、クラス全員で盛り上げ、絆や団結力を深めて行きたいと思っています。



「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」へボランティア参加すること!!



「国スポ・障スポ」が、「わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」のキャッチフレーズで開催されます。

ついでに、滋賀県レイカディア大学同窓会において、ボランティア参加することとなり、日野

分会からは5名が先発エントリーしました。

去る3月16日に、彦根市の平和堂HATOSタジアムで、ボランティア総合研修会が持たれ、そろって参加しました。



新装なったスタジアムの、

大きく美しくと国宝彦根城の天守を見上げ、振り返れば母なる琵琶湖の景観が広がる、ロケーションに感激し、「ここにアスリートたちの躍動する姿が重なりました。

今後数回にわたって研修会やリハーサルが実施され、本番に臨むことになる。楽しみ喜びながらシニアに自分の、社会貢献活動に参加しながら健康寿命を維持していきたく思うところです。



編集後記

昨秋、湖北の鶏足寺を訪ねた。第30期で校外学習をした思い出の古刹である。そこに石田三成の辞世の歌があった。

残り残るもみじはことごととおしき 秋の名残はこればかりぞと

また春宵の望月のころを詠んだ古歌に、照りもせず曇りも果てぬ春の夜の 朧月夜に

しくものぞなき というのがある。

ともに自然の風情に、身の上の心情を重ねたものである。

齢も八十路に入ると、先の歌には切実の感を、後の歌にはレイカディア大学、地域文化学科へ懐古の念がよぎる。皆さんはいかがでしょう。

担当 堀江 勇夫